



ニッコウイフナ か〈サケ科〉

からだ しろ てん あたま
体に白いはん点があります、頭にはありま
みず なか ごんちゆう さかな た
せん。水の中の昆虫や、ほかの魚を食べます。
みず おお かわ
湖にすむものは大きくなりますが、川にすむ
ものは一生小型です。

おお 大き さ やく 約 センチ 25cm せいそくち 生息地 みずうみ 湖・川 かわ じょうりゅう の上流

ぶんぶ 分布 あおもりけん やまなしけん とっとりけん
青森県～山梨県、鳥取県など

ヤマトイワナ か〈サケ科〉

からだ そくめん いろ も、よう すいせい
体の側面にオレンジ色の模様があります。水生
こんちゅう すいめん お こんちゅう こさかな た
昆虫や水面に落ちてきた昆虫、小魚などを食べ
ます。

おお 大き さ やく 約 センチ 25cm せいそく 生息地 みずうみ 湖・川のかわ じょうりゅう 上流

ぶんぶ かながわけいせい たいへいようがわ びわこすい
分布 神奈川県以西の太平洋側、琵琶湖水
けい き いはんとう
系、紀伊半島



ヤマメ か〈サケ科〉

体からだに黒くろい小判こばん型の模がた様ようとはん点てんがあり、地ち方ほうによりその形かたちが異ことなります。
淡水たんすいで一いつしゅう生せいを過あぐすものをヤマメ、海うみに降おりるものをサクラマスといいます。

おおよそ センチ
大きさ 約 20cm

せいぞくち みずうみ かわ じょうりゅう
生息地 湖・川の上流

ぶんぶ ほっかいどう ほんしゅう あおもりけん かながわけん やまぐちけん きゅうしゅう いちぶ
分布 北海道、本州（青森県～神奈川県・山口県）、九州の一部



カジカガエル〈アオガエル科〉

はんしょく^き期の4～8^{がつ}月にか
けて、オスはメスを^{もと}求めて美^{うつく}しい^{こえ}声で^な鳴きます。体は平^{からだ}たく、石^{いし}のような色^{いろ}をしていま
す。

おお **大きさ** やく センチ
約7cm

せいそくち かわ じょうりゅう みずけ
生息地 川の上流などの水気
のある場所

ぶん ぷ ほんしゅう きゅうしゅう
分布 本州～九州



ナガレタゴガエル が〈アカガエル科〉

水^{すい}中^{ちゆう}ではんしょく^{おこな}を行うので、はんしょく^き期^きにはオスもメスも皮^ひふ呼吸^{こきゅう}の面積^{めんせき}を増^ふやすために皮^ひふがたるみます。オスがメスを求^{もと}めて鳴^なくためにある「鳴^{めい}のう」というふくろがありません。

おお やく センチ せいそくち かわ じょうりゅう みずけ ばしょ
大きさ 約 6 cm **生息地** 川の上流などの水気のある場所

ぶんぶ かんとう ちほう さんいん ちほう
分布 関東地方～山陰地方



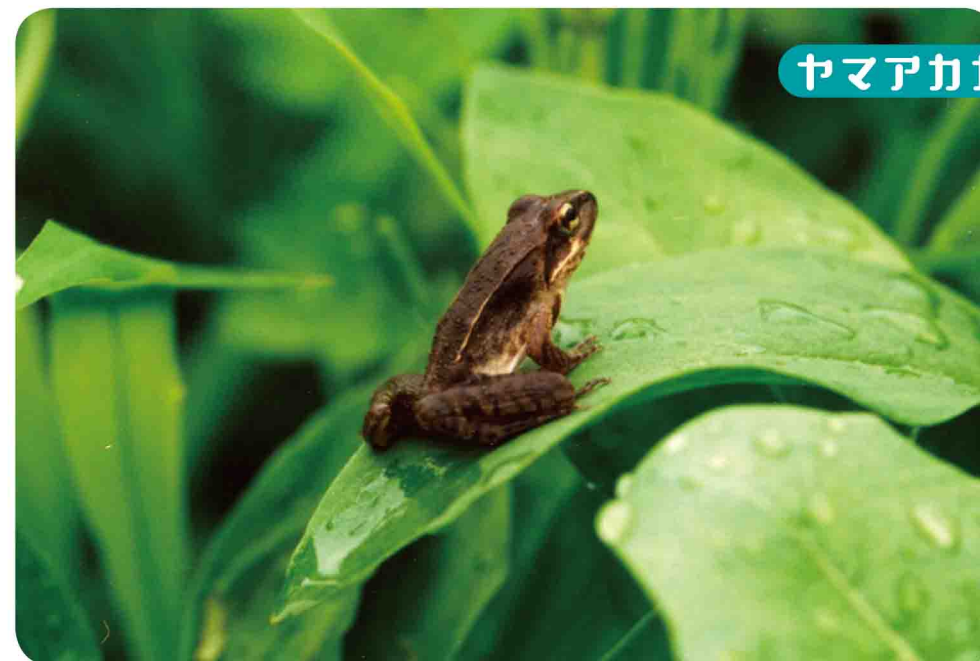
タゴガエル 〈アカガエル科〉

しめった^{いわ}岩やコケの下にすんでいます。昆^{こん}虫^{ちゅう}やクモ、カタツムリなどを食^たべます。

おお **大きさ** やく センチ
約 5.5cm

せいそくち かわ じょうりゅう みずけ ばしょ
生息地 川の上流などの水気のある場所

ぶん ぷ ほんしゅう きゅうしゅう
分布 本州～九州



ヤマアカガエル 〈アカガエル^か科〉

からだ いろ あかちやいろ
体の色は赤茶色で、のど
ぶ ぶん くろ もよう
の部分に黒い模様があり、
せ なか すじ ま
背中の筋が曲がっていま
す。

おお **大きさ** やく センチ
約 8 cm

せいそくち
生息地

かわ じょうりゅう
川の上流などの
みずけ ばしょ
水気のある場所

ぶんぶ ほんしゅう きゅうしゅう
分布 本州～九州



生きた化石 サンショウウオ

サンショウウオはカエルやイモリと同じ両生類です。
中国にいるオオサンショウウオの一種には体長 1.5m、
体重 40kg をこえるものもありますが、そのほかは、
おおむね小型で 20cm 以下のものがほとんどです。

オオサンショウウオ <オオサンショウウオ科>



しっぽに脂肪をためているから、
2週間何も食べなくても平気だよ。

頭。目と鼻は
小さいよ。

後ろ足。指の数は
5本だよ。

はだにはぶつぶつがあって、敵に
おそわれると、サンショウのにお
いのする白い液体を出すよ。

前足。指の数は
4本だよ。



写真提供：アキラ・トトギス

世界一大きい両生類で、3000 万年前の化石と比かくしても、体型
がほぼ変わっていないので「生きた化石」とも呼ばれています。と
ても長生きで、70 年以上生きるものもあります。夜行性で、魚やサ
ワガニ (9 ページを見てね) などを食べます。

大きさ (全長) 約 1.5m 生息地 川の上流～中流

分布 本州 (岐阜県以西) ～九州

トウキョウサンショウウオ <サンショウウオ科>



関東でよく見られるサンショウウオで、足がほかのサ
ンショウウオより短く、尾の上下には筋がありません。

大きさ (全長) 約 13cm

生息地 林などの水気のある場所

分布 福島県、関東地方など

ハコネサンショウウオ <サンショウウオ科>



肺を持たないので、皮ふ呼吸ができるように、体がかんそ
うしない場所にすみます。ほっそりした体つきです。

大きさ (全長) 約 19cm

生息地 川の上流

分布 本州～四国

オキサンショウウオ <サンショウウオ科>



島根県の隠岐諸島にのみすみます。背中に黄色の
模様があり、幼生 (子ども) は流れのあるけい流で
育つものと、流れのない場所で育つものがあります。

大きさ (全長) 約 13cm

生息地 川の上流

分布 隠岐島後

ヒダサンショウウオ <サンショウウオ科>



背中に黄色の模様ががあります。
じょうぶな卵のうに包まれた
卵を産みます。幼生のときは
水中で過ごし、つめがある
ものがあります。

大きさ (全長) 約 18cm

生息地 川の上流

分布 関東地方～中国地方

カスミサンショウウオ <サンショウウオ科>



西日本でよく見られるサンショウウオで、尾の上下に黄色
のふちどりががあります。昆虫やミミズなどを食べます。

大きさ (全長) 約 13cm

生息地 林などの水気のある場所

分布 本州 (中部地方以西) ～九州

がっこう なら かんきょう 学校で習う環境のこと

こ ゆう し ゅ てん ねん き ねん ぶ つ 「固有種」「天然記念物」 ぜつ き し ゅ 「絶めつ危ぐ種」ってなに？

日本には100以上の、日本で見ることのできない「固有種」の魚がすんでいます。都市開発や地球温暖化などのえいきょうで自然環境が破壊され、その数は減り続けています。そのため国などは「天然記念物」や「絶めつ危ぐ種」を制定し、残された種を守る活動を行っています。ここではそのうちの淡水魚の一部を紹介します。

カワバタモロコ <コイ科>



絶めつ危ぐ IB 類
おお 大きさ 約 4cm
せいそくち 生息地 池・沼・水路・川の中流
ぶん 分布 本州（静岡県～岡山県）、四国北部、九州北部

スイゲンゼニタナゴ <コイ科>



絶めつ危ぐ IA 類
おお 大きさ 約 4cm
せいそくち 生息地 水路・川の中流～下流
ぶん 分布 兵庫県～広島県

ウシモツゴ <コイ科>



絶めつ危ぐ IA 類
おお 大きさ 約 5cm
せいそくち 生息地 池・沼・水路
ぶん 分布 長野県、静岡県、愛知県、岐阜県、三重県

シナイモツゴ <コイ科>



絶めつ危ぐ IA 類
おお 大きさ 約 7cm
せいそくち 生息地 池・沼・水路
ぶん 分布 北海道、本州（青森県～福島県・長野県）

ムサシトミヨ <トゲウオ科>



絶めつ危ぐ IA 類
おお 大きさ 約 5cm
せいそくち 生息地 川の上流
ぶん 分布 埼玉県



イタセンパラ <コイ科>

タナゴの仲間で、体高が高く、ひげがありません。水草の多いゆるやかな流れを好みます。秋に二枚貝に産卵します。

おお 大きさ 約 8cm
せいそくち 生息地 水路・川の中流
ぶん 分布 淀川水系、濃尾平野、富山平野

ネコギギ <ギギ科>

日本のギギの仲間ではいちばん小さな種類で、胸びれにトゲがあります。ひれを支える骨をこするようにして音を出します。夜行性で昼間は石の間にかくれています。

おお 大きさ 約 10cm
せいそくち 生息地 川の中流～下流
ぶん 分布 愛知県、岐阜県、三重県



◆固有種って？

その地域にしか育たない生物学上の種のことです。日本の国土以外では見ることのできない生き物は「日本固有種」と呼ばれます。24、25 ページで紹介した魚はすべて日本固有種でもあります。

◆天然記念物って？

日本の文化財保護法によって文部科学大臣が指定した動物、植物、地質、鉱物、自然などのことです。魚類の種や生息地も指定されています。1 巻で紹介した「アユモドキ」、2 巻で紹介した「ミヤコタナゴ」も天然記念物です。

◆絶めつ危ぐ種って？

国際機関や国、地方自治体が野生生物を調査し、「絶めつのおそれのある野生生物の種のリスト」で指定したものです。このシリーズでは日本の環境省が作成したものをもとに紹介しています。ほかに、IUCN（国際自然保護連合）が作成するリストもあります。